

2025年度

コミュニティ・コラボレーションセンター

活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを基に、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行うセンターです。学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、生きた学びを得て成長するようにサポートしています。2025年度の活動の一部を、以下の通り報告します。

CCC Topics

●コラボメッセ

12月7日に、CCCに所属する学生団体と企業、行政機関、NPOなどが一堂に会するイベント「コラボメッセ」を開催しました。参加団体は全部で74団体、370人ほどの参加者となりました。第1部 愛知淑徳大学の卒業生である明知大学客員教授 藤本 己子様と名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 イノベーション・アツレブ・レザップ 推進室 URA 野原かほり様の講演、第2部 活動報告会が行われ、トヨタ自動車(株)様、名古屋市様など多くの学外団体の方々と意見交換する機会となりました。



CCC開設科目

CCCでは社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

授業「ボランティア」は、ボランティア活動経験の有無にかかわらずボランティア活動や地域・社会貢献活動に関心がある方に向けて開講している入門科目です。授業では、ボランティア活動に関する基礎的概念に加え、地域社会が抱える課題や外部ゲスト講師の活動事例をテーマとして取り扱います。積極的にワークショップ形式の演習を取り入れており、学生の日常や関心と授業内容を結びつける中でボランティア活動への動機付けを図っています。



学生の活動

CCCでは学生の活動を支援しています。今年度も様々な分野で活躍しました。

●株式会社デンソー様との連携

5月20日に社会貢献活動に率先して取り組む(株)デンソーの社員の方々をお招きし、本社の屋上で行うミツバチの養蜂を活用した環境活動についてご講演いただきました。その取り組みや想いに共感した学生たちが「サステナハニーProject」を立ち上げました。社員の皆様と共に、障がい者の就労支援にハチミツを活かせないかと様々な企画を考案しました。その中のアイデアで就労支援の商品の一つとなる「バスボム」が選ばれ、試作を何度も行い、レシピを開発しました。またデンソーの社員の皆様にバスボム作りを体験していただくために、リハーサルも行いました。現在では障がい者の就労施設と連携し、バスボム商品化に向けて活動を続けています。



●愛知県主催「地球を愛する学園祭」での出展

愛知万博開催から20周年を記念したイベント「愛・地球博20祭」と連携した企画「地球を愛する学園祭」が8月8日から10日の3日間、愛・地球博記念公園で開催され、CCCに所属する計15の学生団体合計193人が展示やワークショップを出展しました。3日間で、811人の来場があり、「未来へ持続可能な社会を残すために何ができるか」を考えながら、学生たちはそれぞれの立場から、子どもたちと向き合い、大切なメッセージを届ける時間となりました。



CCCでは様々な企業、行政、NPOとの連携で多くの学生が事業参画しています。